

こいのぼり会



5月初めに新棟のラウンジにてこいのぼり会を行いました。おしゃれ着で特別な日と感じ取りいつも元気な乳児達も緊張顔でした。キャラクターの帽子を1才半の子が自分より小さな友達に順番に帽子を被せ「可愛いね」と声を掛けて会場を回り、写真係の大人に撮るようアピールしていました。最近までは自分の気に入った物は誰にも触らせない年頃だったのに。自分の楽しいと感じた事を分けてあげたり、楽しい姿は写真に撮るものと分かっていたりとすっかりお姉さんに。

保護者の方にも参加して頂き、子ども達の成長を一緒に喜ぶことのできた時間でした。 保育士 岡村 理恵



5月2日に毎年恒例のこいのぼり会が行われました。いつもよりちょっぴりおしゃれをし、病院13階ラウンジで開催しました。こいのぼり会では「ぶらぶら星人」の手遊びや「大きなかぶ」のエプロシアターを見て楽しみました。おやつは初めて見る「かしわもち」。「かしわもち」の由来は、柏の木の葉は新芽が出てから古い葉が落ちる。そこから家系が絶えない、さらには子孫繁栄と結びつき縁起のよい食べ物とされています。子どもたちは初めてのかしわもちに、感触が気に入りパクパク食べたり、まだ何か分からず首を振ったりと様々な反応を見せてくれました。今回もたくさんのボランティアの皆様にご協力頂きありがとうございました。

保育士 加藤 彩子



お宮参り



5月16日元神明宮に二人のお子さんのお宮参りに行ってきました。まっ白なレースの付いたかわいい衣装に着替え、いざ出発です！ひとりのお子さんは太陽の下眩しそうに目を細めそのままぐっすり眠ってしまい、もうひとりのお子さんは目をキョロキョロさせ普段とは違う周囲の様子を終始よく見ていました。今回、お子さんの大切な節目の行事に付き添わせていただき、とても幸せに感じました。たくさんの愛に包まれ、健やかに成長しますように。

保育士 小長谷 香利



夏のレシピ



スイカのフルーツポンチ

スイカを型抜きしたフルーツポンチです。夏に食べるイメージがあるスイカは、4月頃から9月頃まで市場に出回っています。フルーツには、収穫後に完熟し甘くなるものと、一度収穫してしまうと、その後、熟さず甘くならないものがあり、スイカは後者のフルーツです。その為、購入する時点で甘いものを選ぶ必要があります。おいしいスイカを選ぶポイントは、縞(しま)模様がはっきりしていることです。縞(しま)模様の黒い部分が色濃く、緑色の部分と境目がはっきりしているスイカは甘いスイカといえます。お子さんと一緒にスイカの型抜きをしながらフルーツポンチを作って夏の暑さを乗り越えましょう。

管理栄養士 菅原 綾子



【材料】 1人分：スイカ、お好みのフルーツ 50g 砂糖 15g
水 10g 小玉スイカ 1個

【作り方】

- ①砂糖と水を鍋に入れ、煮詰めてシロップを作る。その後、冷蔵庫で冷やしておく。
- ②スイカを好きな型で抜く。
- ③フルーツは食べやすい大きさに切っておく。
- ④スイカとフルーツを器に盛り付け、シロップをかけたら完成。



子ども達の日々の様子

季節の行事を
楽しみました！！

菖蒲のお風呂に
入ったよ！！



お願い事が
叶いますように☆

新入職員紹介

＜上段左＞ 保育士

毎日子どもたちと楽しく過ごしたいです。よろしくお願いします。

＜上段中央＞ 補助員

子どもたちの元気いっぱいの泣き声や笑い声が聞けて、毎日とても楽しいです。よろしくお願い致します。



＜上段右＞ 保育士

子ども達の笑顔にいやされながら、沢山のことを子ども達から学んでいきたいと思っています。

＜下段左＞ 保育士

子どもたちが元気に安心して毎日を過ごせるように頑張ります。

＜下段右＞ 保育士

楽しく安全な毎日を送れるように努力し、子どもたちと共に成長していきたいです。

＜上段左＞ 看護師

子供達が笑顔で過ごせるように関わってきたいと思います。

＜上段右＞ 看護師

笑顔を大切がんばります。

＜下段左＞ 保育士

子ども達と笑顔で過ごせるよう頑張ります。ご指導よろしくお願いします。



＜下段中央＞ 看護師

子ども達が家庭的な雰囲気の中で暮らせるように、温かく包みこめるように関わります。宜しくお願いします。

＜下段右＞ 保育士

子ども達が安心して過ごせる場所をつくっていけるように頑張ります。

「心理士だより」

お天気がよくなり、久しぶりに公園に来た子どもたち。よちよち歩きが始まったり、ハイハイですばやく移動したり。そんな子どもたちが、広くて気持ちのよい芝生の上で遊ぶのを見ていると、大人も快適になります。ところが、だっこからおろそうとすると泣き声をあげる R 実ちゃん。ようやくおりたけどカタマッている M 太郎くん。お部屋ではあんなに活発に動きまわるのに。ここまでのベビーカーでウトウトしていたから、もう眠くもないはず。

そう言えば、児童館やひろばに行くといつもの元気な声を出さなくなったり、み～んな体操しているのに一人だけ何もしなかったり、そんなお友達を見かけることもありました。

せっかくなのにどうして楽しめないのか？欲求不満や愛情不足で大人から離れられないのか？育てている側からすると気になるかもしれません。

これは、生まれもった気質によるものだと思います。こわがり・慎重・安全志向が強いのか弱いのかは生まれつきのタイプと言われています。幼い子どもでも、いえ、それだからこそ、もって生まれた気質がはっきり表れるのでしょう。初めての離乳食にイヤな顔をしたり、人見知りがいつまでも続いたりすることも、その子どもの個性だと思い、安心できるようになるまで、大人と一緒に時間をかけることが必要でしょう。大好きなお友だちのマネをして、活動開始！することにも期待できますね。

柴田 薫



【苦情等相談窓口について】

当院への苦情は、師長代理、第三者委員又は当院玄関に設置してありますご意見箱（乳児院事務室前）までお願い致します。

苦情解決責任者：乳児院院長 山中一郎

苦情受付担当：看護師長代理 小泉菜穂子

第三者委員：須藤久美 川原邦子



【編集後記】 夏本番ですが、子ども達は暑さに負けず元気いっぱいです。夏の思い出を子ども達とたくさん作っていききたいと思います。(S、M)

すくすく 第64号 2018.7.31. 発行
発行人 山中 一郎 編集委員 小泉 菜穂子
山崎 友絵 小長谷 香利 武田 典子 進藤 美智子